

大埜 恭子

### 自閉スペクトラム症の子どもの体験世界の理解について

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、適切な指導や必要な支援を行うことが求められる一方で、自閉スペクトラム症（Autism Spectrum Disorder, 以下 ASD）の子どもは独特の感じ方や考え方、世界を持っており、その体験や思いに即さない関わりによって、その後の社会生活に弊害が生じる可能性が危惧される。本論では、指導や支援の前提として、ASD を有する子どもの世界に対する理解が最優先されるべきであると考え、ASD 者の自伝や手記からその体験世界の理解に努めた。さらに、ASD の子どもへの理解における留意点について検討を行った。その結果、自伝や手記から「外的刺激に対する過敏性」「身体感覚」「自己統制」「認知機能」「コミュニケーション」について、その独自性が明らかにされた。さらに、ASD 者が社会の中で資質を生かしながら生きていく上で、理解者の存在が重要であることが示唆された。一方で、定型発達者は、幼児期からの発達過程の中で「注意機能」「他者視点」「情緒交流」を自然と獲得するが、ASD 者では、これらの機能等が発達過程の中で獲得されにくい。この前提が定型発達者に理解されないまま、ASD の子どもの外的な言動が捉えられることで、「努力不足」や「わがまま」といった誤解が生じることが多い。つまり、定型発達者のフィルターを通して ASD の子どもの言動を捉えることで、その言動の背景にある体験世界そのものが理解されにくくなると考えられる。そのため、子どもの成長発達に携わる教師等の支援者は自身の世界の捉え方や思考、感情を自己確認した上で、ASD の子どもの体験している世界との相違を踏まえ、指導や支援等の対応を行うべきであろうと考える。

中山 麻耶

## 「主婦イメージ」の変容 —主婦雑誌『VERY』の分析から—

本研究では男女共同参画社会基本法が制定され、主婦の社会進出がすすんだ1990年代後半から近年にかけて、主婦向けのファッション雑誌を資料として、読者である主婦たちに提示される「主婦像」がどのようなものなのか、また描かれる主婦像がどのように変化してきたかについて検討をおこなう。

ここでは1995年に光文社より創刊された主婦雑誌『VERY』を用いて分析する。『VERY』は30代既婚女性を対象としたファッション雑誌であり、創刊以来継続して人気の高い月刊誌だ。創刊当初は高階層の専業主婦を対象とした雑誌であったが、専業主婦の減少及び働く主婦の増加に伴い、現在では主婦の再就職といった特集も組んでいる。

分析の結果、2000年代後半から主婦のイメージ改革が誌面で起きていることが分かった。創刊当初は「主婦だけどオシャレに見られたい」というような、主婦がオシャレではないマイナスなものとして語られるのに対し、2000年代後半からは「主婦だからこそ美しい」という、主婦を肯定する記述があらわれる。

また社会進出に関する記述の増加も著しく、「結婚・妊娠すれば退職」ではなく、どのように仕事を続けているか、またはどのように仕事を再開したかという記事があらわれる。「家族のために」だけではなく、「私のために」輝ける生き方を選択する女性の登場がうかがえる。

横山 輝樹

「御小姓組方例書私録」(一)  
—十八世紀江戸幕府軍事部隊の古記録の翻刻と解説—

本稿は国立公文書館所蔵(内閣文庫)の「御小姓組方例書私録」(内題「御小性組方例書私録」)。以下、「私録」の一部を翻刻・解説したものである。「私録」は江戸幕府の小性組に関する各種法令・通達、同組の運営・職務に関する申し合わせなどを内容別に分類し、これらを編年で収録したものであり、記事の上限は正徳6年(1716)、下限は安永3年(1774)である。

小性組とは江戸幕府の軍事部隊のひとつであり、上級幕臣である旗本で構成された軍事部隊の中で最も高い格式を有していた。平時には江戸城内の警衛や将軍出行時の身辺護衛が主な役目であり、この他、儀式の際の給仕役、諸国巡見使、江戸市中の巡回なども勤める。慶長10年(1605)に創設された書院番から分離するかたちで、元和8年(1622)に創設され、以後、組数の変遷はあるものの、慶応2年(1866)に廃止されるまで幕軍の中核部隊として存続した。

「私録」の作者・成立年代はいずれも不明であるが、記載内容から判断するに、安永3年から江戸幕府10代将軍徳川家治が死去する天明6年(1786)までの間に小性組番頭であった者、あるいはその関係者がまとめたものと考えられる。

「私録」の記事は全てが新出の内容というわけではなく、既によく知られている古記録にも見られる記事も含まれる。たとえば正徳6年2月29日に若年寄が出した書付は、「私録」に限らず、「柳営日次記」や「教令類纂」にも収録されているものであり、『徳川禁令考』には活字化されて収録されている。しかし「私録」の場合は、その書付を受け取った小性組がその後いかなる対応をしたのかということまで記事になっている。すなわち、近世中期の小性組の動向を分析する上で貴重な情報が「私録」には含まれているのである。

## 執筆者紹介

大 埜 恭 子 非常勤講師  
中 山 麻 耶 (経 営 実 務 科) 講 師  
横 山 輝 樹 (法 学 部) 講 師

### 大阪学院大学人文自然学会会員 (2023年12月31日現在)

秋田 亨	情報学部	池上真悠子	経営実務科	伊藤 隆	経営学部
井上 洋一	経済学部	岩岡 眞弘	経済学部	上地 宏	商学部
上原 邦昭	経営学部	梅田 享	外国語学部	大谷 朗	情報学部
小野寺秀俊	情報学部	川本 芳久	情報学部	神戸 尚志	情報学部
工藤 泰子	商学部	佐野 学	情報学部	杉山 伸一	商学部
角田 聡	経済学部	竹井恵美子	国際学部	田中 豊	情報学部
谷口 高士	情報学部	淡 誠一郎	情報学部	寺井 正幸	情報学部
豊永 昌彦	情報学部	中西 朗	商学部	中山 麻耶	経営実務科
西 壽巳	情報学部	西田 知博	情報学部	野口 隆	経済学部
増田 ゆか	経営実務科	松尾信之介	経済学部	松田 潤	情報学部
森井 紳	商学部	山内 武	経済学部	山口 雅之	経営実務科
山下 博志	情報学部	山田 章	教育開発支援センター	ヤング太田美穂	国際センター
横山 輝樹	法学部	吉山 昭	情報学部	渡辺千香子	国際学部

(50音順)

### 大阪学院大学人文自然学会役員

会 長 淡 誠一郎 (情 報 学 部)  
副 会 長 佐 野 学 (情 報 学 部)  
庶務委員 川 本 芳 久 (情 報 学 部) 中 山 麻 耶 (経 営 実 務 科)  
編集委員 山 下 博 志 (情 報 学 部) 横 山 輝 樹 (法 学 部)

2023年12月20日 印刷  
2023年12月31日 発行

編集兼 大阪学院大学  
発行者 人文自然学会  
〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号  
TEL 06 (6381) 8434代  
印刷所 大枝印刷株式会社  
〒564-0031 大阪府吹田市元町28番7号  
TEL 06 (6381) 3395代

**THE BULLETIN  
OF  
THE CULTURAL AND NATURAL SCIENCES  
IN  
OSAKA GAKUIN UNIVERSITY**

**Nos. 87**

**December 2023**

---

**CONTENTS**

**Article**

Kyoko Otao

Understanding the Experiential World of Children with Autism Spectrum Disorder... 1

Maya Nakayama

The Change in the Image of Housewife – Based on an Analysis of the Women’s  
Magazine *VERY* – ..... 15

**Data**

Teruki Yokoyama

Decoding ancient records “Okoshougumikatareishoshiroku” vol.1  
– Deciphering and explaining the historical records of the Edo Shogunate army  
in the 18th century – ..... 52

Summaries ..... 53

---

THE ASSOCIATION OF THE CULTURAL AND NATURAL  
SCIENCES IN OSAKA GAKUIN UNIVERSITY  
OSAKA JAPAN